**愛情点検**　★長年ご使用の電気温水器の点検を

●電気温水器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後10年です。

| ご使用の際このようなことはありませんか。 | ・設置場所が濡れている。<br>・お湯の出が悪い。<br>・お湯が早くなくなる。<br>・時々漏電遮断器がはたらく。<br>・その他の異常、故障がある。 | ▷ | お願い | 故障や事故防止のため、200V電源ブレーカーを切り不凍結水抜き栓を閉じてから据付け工事店に点検・修理（有料）をご相談ください。 |
|---|---|---|---|---|

| 形　　名 | |
|---|---|
| ご購入（据付け）年月日 | 年　　月　　日 |
| 据付け工事店（販売店）名 | TEL |

お客さまへ………おぼえのため、形名、ご購入年月日、据付け工事店名（販売店）を記入されると便利です。

HOLS 株式会社ほくでんライフシステム 〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目6番地 住友商事札幌ビル
TEL：011-207-6555

T962Z161H11

# HOLS 電気温水器取扱説明書

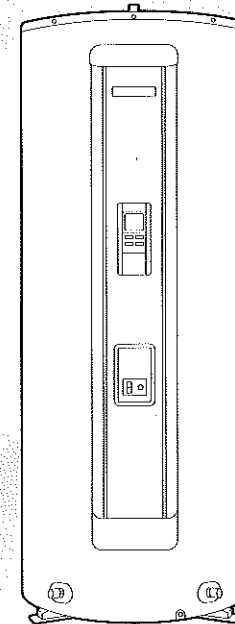
ほくでんライフシステム

## 形名 HEMC-4602B

このたびは、HOLS電気温水器をお買上げいただきましてまことにありがとうございました。

**屋内形**　マイコン

8H 通電制御型 8時間通電

LB 認定品

この電気温水器は、申請によって通電制御型として料金割引きが適用されます。ご不明の場合は、必ず据付け工事店（販売店）または最寄りの電力会社にご相談ください。

- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・据付け工事店名（販売店名）」などの記入を確かめて、据付け工事店（販売店）からお受け取りください。
- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）

試運転は据付け工事店の立会いのもとで行ってください。安全を確保するための正しい使い方について、据付け工事店から説明を受けてください。

## もくじ

# 安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。（据付工事説明書は、据付工事店（販売店）から必ず受けとってください。）

**誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。 |
| ⚠注意 | 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。 |

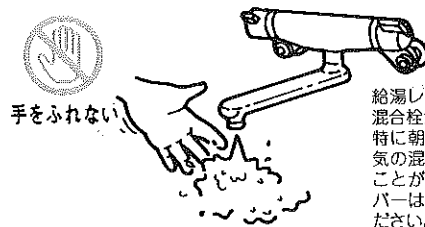
**本文中や、本体の表示に使われる図記号の意味は次の通りです。**

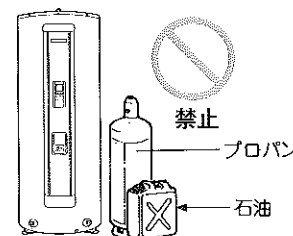
| | |
|---|---|
| 🚫 | 絶対に行わないでください。 |
| ❗ | 必ず指示に従い、行なってください。 |
| ⏚ | 必ずアース工事を行なってください。 |

| | |
|---|---|
| ⚠ | 感電の恐れあり |
| ⚠ | やけどの恐れあり |
| ⚠ | 発火の恐れあり |

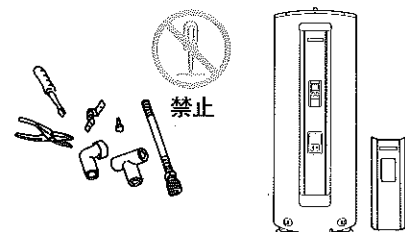
## ⚠警告

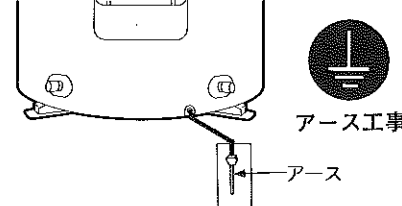
### やけどに注意

・給湯時は湯水混合栓に手を触れないでください。
・排水時はお湯に手を触れないでください。
・逃し弁点検時は配管に手を触れないでください。

給湯レバーを開くと湯水混合栓からお湯がでます。特に朝の使いはじめは空気の混ざった熱湯が出ることがあります。給湯レバーは少しずつ開いてください。

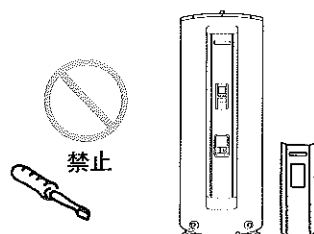
### 近くにガス類や引火物を置かない

置くと、発火・火災になることがあります。

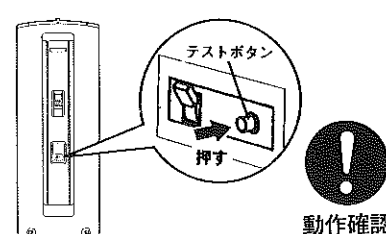
### 改造をしない

（修理技術者以外の人は、分解・改造・修理をしない）

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

### アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。

アースの取付けは、据付け工事店かHOLSお客様相談窓口へお問合せください。

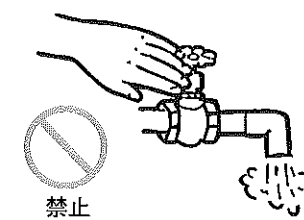
### 前面カバーを開けない （3ページ）

開けると、感電することがあります。

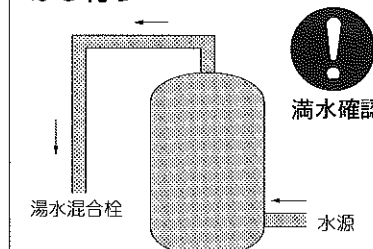
### 漏電遮断器の動作を確認する （20ページ）

故障のまま使用すると、感電することがあります。

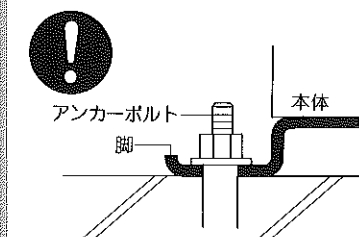
## ⚠注意

### 飲用はしない

長期間の使用により水質が変化した場合、下痢・腹痛など、体をこわすことがあります。

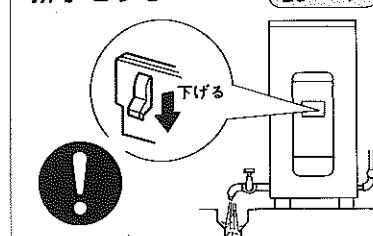
### タンクの熱湯を直接排水しない

やけどをすることがあります。
また、排水管などを破損することがあります。
水でうすめてから排水してください。

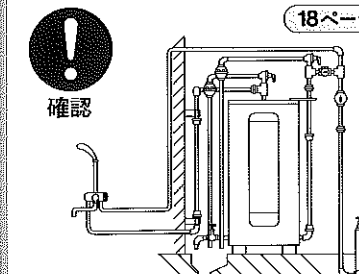
### 通電はタンクを満水にしてから行う

「空焼き」の場合、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

### 脚がアンカーボルトで固定されているか確認する

固定されていないと地震のとき本体が倒れてけがをすることがあります。

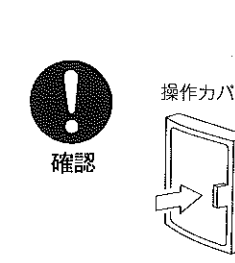
### 逃し弁の点検をする （19ページ）

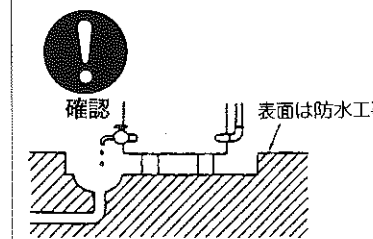
点検しないとタンクが破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

### 1カ月以上使用しないときは、電源を「切」にしてタンクの排水をする （23ページ）

排水しないと
水質が変化することがあります。

### 凍結防止対策の確認をする （18ページ）



凍結するとタンクや配管が破裂して水漏れでやけどをすることがあります。

### 操作カバーは閉じる （3ページ）

開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

### 床面が防水・排水処理されているか据付け工事店へ確認する

処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。

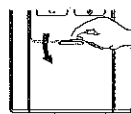
# 各部のなまえとはたらき

## 本体

**給湯口**

本体からのお湯の出口です。

**操作部**

フタの開けかた

**漏電遮断器 電源レバー**

このレバーで電源を「入」・「切」にします。
使用中は常に「入」にしておきます。
異常時は「切」にして、工事店へご連絡ください。

**操作カバー**

**前面カバー**

**給排水口**

左右にあり、給水用と排水用に使い分けられます。

**漏電遮断器 テストボタン**

漏電遮断器が正しく動作するかをテストするボタンです。電源の通電中に確認してください。

**脚**

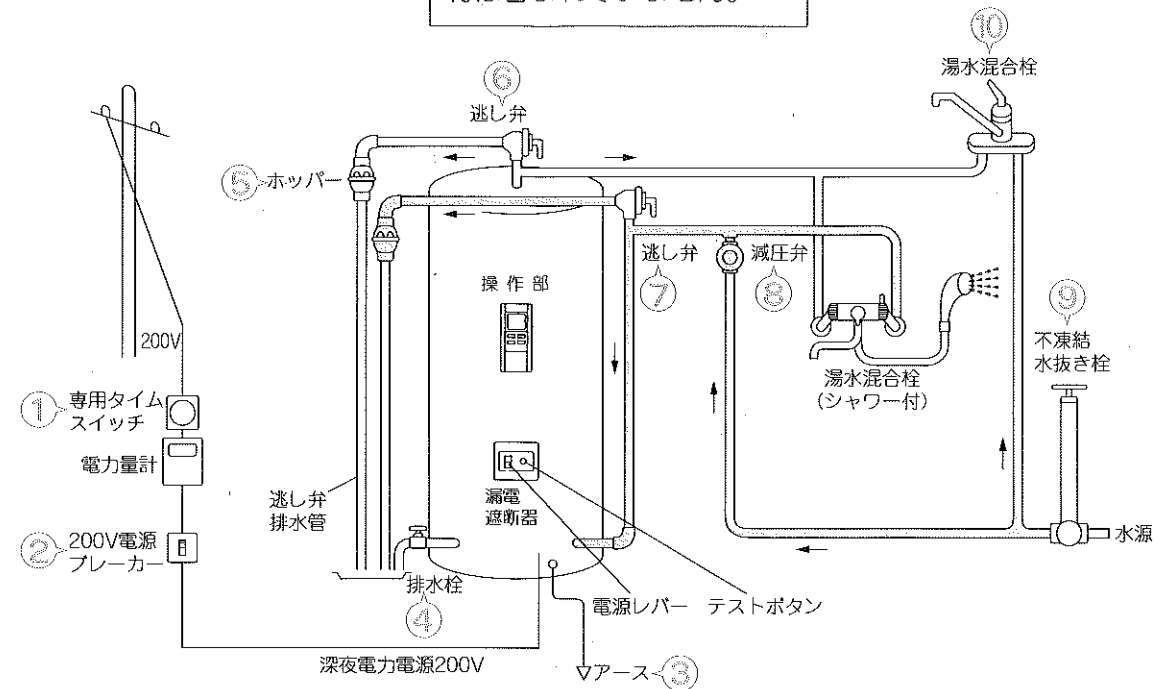
**本体銘板**

形名がここに書いてあります。

**アース端子**

アース線を接続するための端子です。

## 本体周辺部

BL認定の範囲は本体、逃し弁、減圧弁です。配管、部材は含まれていません。

**①専用タイムスイッチ**

深夜電力電源（200V）の供給を自動的に「入」、「切」します。

**②200V電源ブレーカー**

200V電源の「入」、「切」します。

**③アース**

万一の感電を防ぎます。

**④排水栓**

タンク内の水を排水するときに操作します。

**⑤ホッパー**

排水管が凍結したときにも逃し弁からの膨張水が排出できるようにします。また、タンク排水時に逃し弁からの空気取入れ口にもなります。

**⑥逃し弁（給湯側）**

沸き上げ時の膨張水を排出しタンク内を一定圧力にします。

**⑦逃し弁（給水側）**

沸き上げ時の膨張水を排出しタンク内を一定圧力にします。

**⑧減圧弁**

タンクへの給水圧力を一定にします。

**⑨不凍結水抜き栓**

タンク内への「給水」、「止水」と凍結防止時、水抜きとして機能します。

**⑩湯水混合栓**

お湯を取り出します。
*浴室ではやけど防止のためサーモスタット付混合栓をお勧めします。

# 各部のなまえとはたらき

## 操作部

（フタを開けたとき）

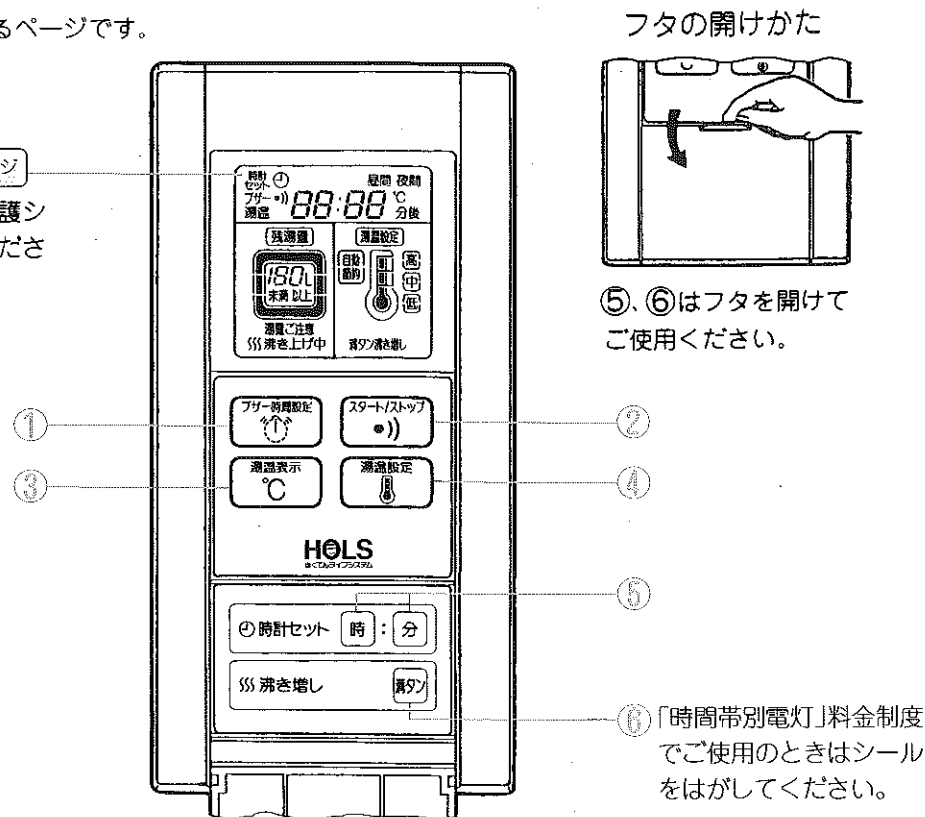
ページ は説明のあるページです。

**表示部** 次ページ

ご使用のときは保護シールをはがしてください。

フタの開けかた

⑤、⑥はフタを開けてご使用ください。

⑥「時間帯別電灯」料金制度でご使用のときはシールをはがしてください。

### ①ブザー時間設定スイッチ 14ページ

お知らせブザーを設定します。

### ②スタート/ストップスイッチ 14ページ

お知らせブザーをスタート／ストップさせます。

### ③湯温表示スイッチ 12ページ

現在時刻表示を湯温表示に切換えます。

### ④湯温設定スイッチ 11ページ

沸き上げ湯温を設定します。

### ⑤時計セットスイッチ 9ページ

現在の時刻を設定します。

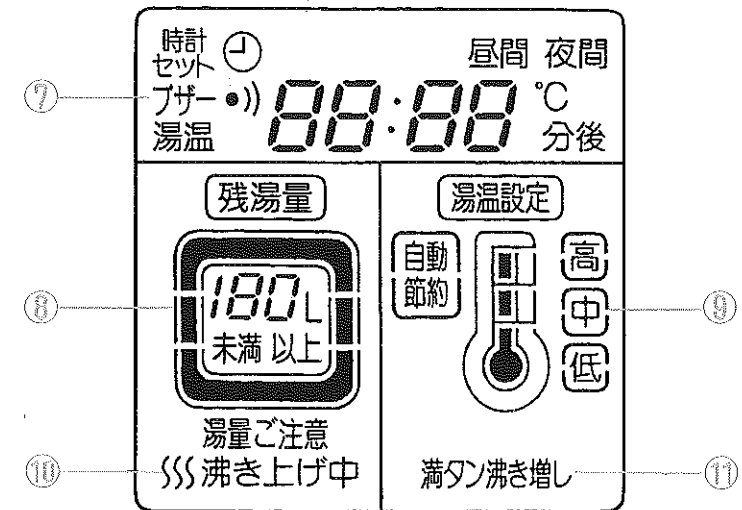
### ⑥沸き増しスイッチ 13ページ

沸き増しのときに使用します。

お知らせ　沸き増しは契約電力制度が「時間帯別電灯」料金制度のときに利用できます。
「深夜電力」制度では利用できません。

## 表示部

ページ は説明のあるページです。

（全点灯状態）

### ⑦デジタル表示部

現在時刻、湯温、ブザー時間などを表示します。

- 現在時刻…………… 9ページ
- 湯温…………………… 12ページ
- ブザー時間………… 14ページ
- 時間帯……………… 10ページ
- 英数字（エラー表示）…………… 10ページ

### ⑧残湯量表示部 15ページ

タンク内の残湯量を表示します。

### ⑨湯温設定表示部 11、12ページ

沸き上げ湯温設定の状態を表示します。

### ⑩沸き上げ中表示部

沸き上げ中に点灯します。それ以外のときは消灯します。

### ⑪沸き増し表示部 13ページ

沸き増しを設定したときに表示します。

## 使用前の準備と給湯

使いはじめは配管内のゴミや油を流すため一度給水、排水をしてから給水してください。

**給水**
①排水栓を閉じる。
②湯水混合栓やシャワーの湯温調節を「高」にして給湯レバーを開く。
③不凍結水抜き栓を開く。
④約30～40分して湯水混合栓やシャワーから水が出てきたら給湯レバーを閉じる。
給水時間はタンク容量や配管によって多少変わります。

**排水**
⑤不凍結水抜き栓を閉じる。
⑥逃し弁のレバーを上げる。
⑦排水栓を開く。約30～40分で水が抜けます。
⑧排水が終わったら排水栓を閉じて逃し弁のレバーを下げる。

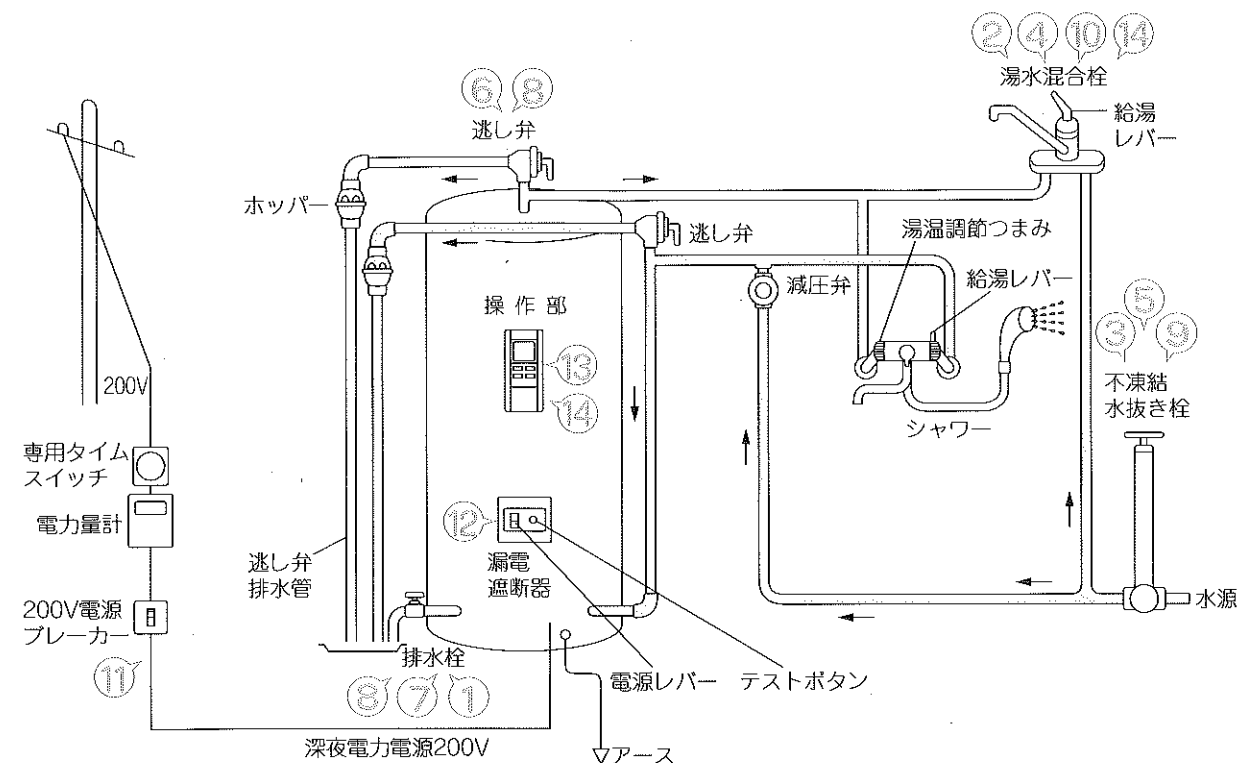
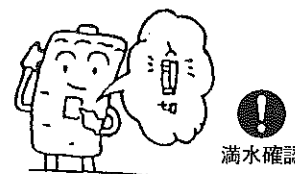
**給水**
⑨不凍結水抜き栓を開く。
⑩湯水混合栓やシャワーから水が出てきたら給湯レバーを閉じる。

**運転**
⑪深夜電力の200V電源ブレーカーを「入」にする。
⑫漏電遮断器の電源レバーを「入」にする。
⑬時刻設定をする。(9ページ)
⑭湯温設定をする。(11ページ)

お知らせ
- **深夜電力は専用タイムスイッチによって毎晩自動的に供給されます。**
- **給湯は翌朝から使用できます。**

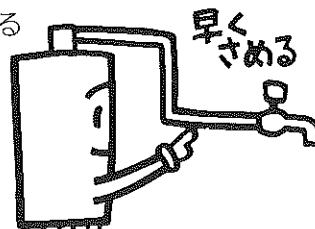
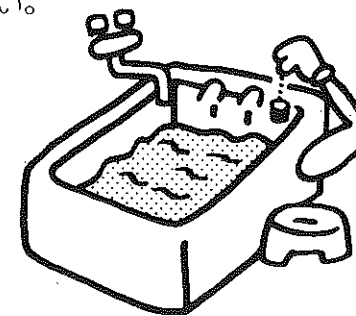
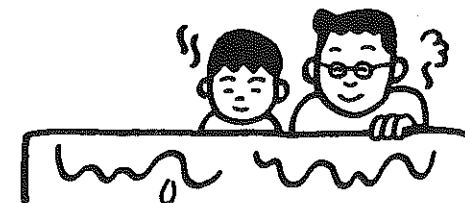
**給湯**
⑮湯温調節を「低」側にしてから給湯レバーを開きちょうどよい湯温にする。

お知らせ **給湯すると温水器に自動的に給水されます。**

**⚠注意**
通電はタンクを満水にしてから行ってください。「空焼き」の場合ヒーターが過熱して故障の原因になります。

## お湯の上手な使い方 1日に使用できるお湯の量は限られています。お湯は大切にお使いください。

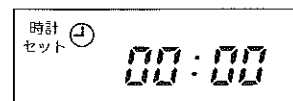
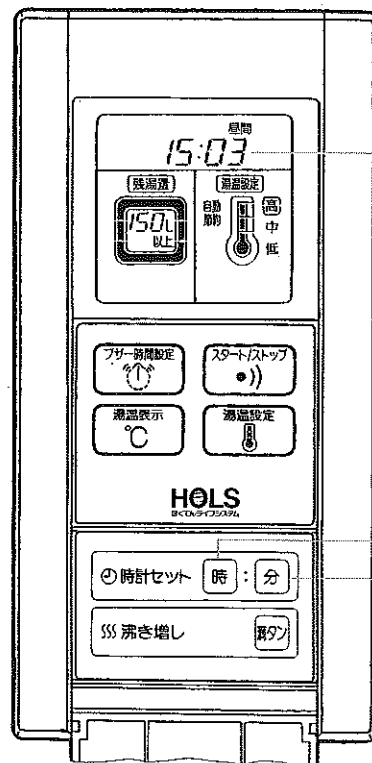
特に冬期は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になることがありますから上手に使いましょう。

- 流し洗いはお湯のムダ使いになります。
お湯は容器に受けて使いましょう。

- 配管内のお湯は早くさめます。
シャワーや湯水混合栓の開閉回数をできるだけ少なくすると効果的です。

- お風呂の湯温を高くしたいときは、お湯を少し減らしてから足し湯を行ってください。

- 入浴は、できるだけ深夜電力時間帯（「沸き上げ中」の表示中）を避けて続けて入浴してください。
点灯中にお湯を使うと翌日の湯温が低くなり、湯量不足になります。

## 時刻設定

※「時間帯別電灯」料金制度で契約の場合は時刻が設定されていないと沸き上げができません。

- 時刻が設定されていないと、沸き上げができませんので、必ず正しい時刻を設定してください。
- 正しい時刻に設定されていないと、昼夜間の判断が正しく行われず、電気料金が割高になります。

据付け後はじめてご使用になるときや長時間の停電後のデジタル表示部

① 時 を押す

時スイッチを押すと表示部の「時」の位の数字が1進みます。
さらに時スイッチを押し続けると、「時」の位が"0"→"1"→"2"→…→"22"→"23"→"0"→…と切換わります。

② 分 を押す

分スイッチを押すと表示部の「分」の位の数字が1進みます。
さらに分スイッチを押し続けると、「分」の位が"00"→"01"→…→"58"→"59"→"00"→…と切換わります。

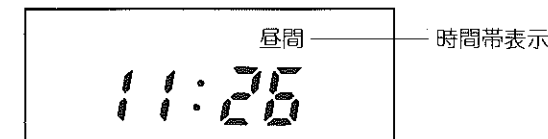
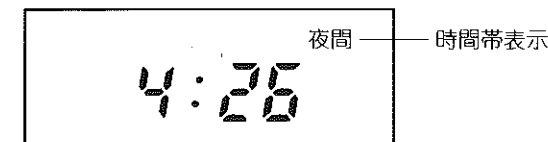
お願い

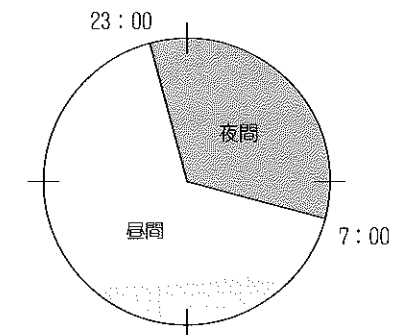
- **時刻表示は24時間表示です。午前と午後をまちがえないように正しく設定してください。**
  **例） 午後3時3分 → 15：03**
- **時刻設定が終わったら必ずフタを閉めてください。**
- **時刻を修正したい場合は、時スイッチ、分スイッチを押して時刻を設定してください。**

## 時間帯の表示

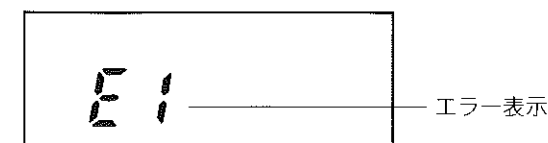
※「時間帯別電灯」料金制度で契約時のみ点灯します。

### デジタル表示部

昼間

夜間

この製品では、時間帯を次のように初期設定してあります。

| 時間帯 | 時　　刻 |
|---|---|
| 昼間 | 7：00～23：00 |
| 夜間 | 23：00～ 7：00 |

お知らせ **時間帯が表示されるのは、最初の電源「入」から24時間経過後です。**

## 英数字の表示（エラー表示）

### デジタル表示部

デジタル表示部が「E1」「E2」で点灯したときは、温度検知センサーの異常です。必ず温水器の漏電遮断器の電源レバーを「切(OFF)」にし、据付け工事店にご連絡ください。

| 表示 | 現　　象 |
|---|---|
| E1 | お湯が沸かない。 |
| E2 | 残湯量を正しく表示しない。 |

## 湯温設定

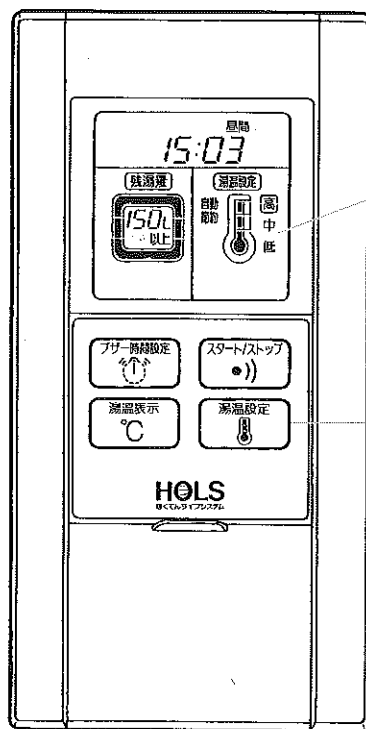
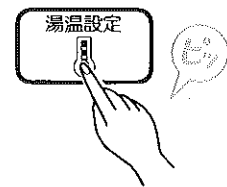
ご家庭の使用湯量に合わせて沸き上げ湯温を設定します。

- 毎日の使用湯量がほぼ一定しているときには「自動節約」に設定するとムダなく効率的に沸き上げます。
- あらかじめ来客などで使用湯量が急増することが予想されるときや、熱いお湯が必要なときは、前日までに「高」に設定します。
- 使いはじめは「高」を設定し、残湯量が多い場合は順次低い湯温設定に切換えます。
- 給水水温10℃以下、残湯量20L未満の場合は、90℃まで沸き上がりません。

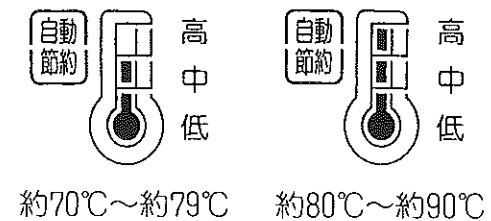
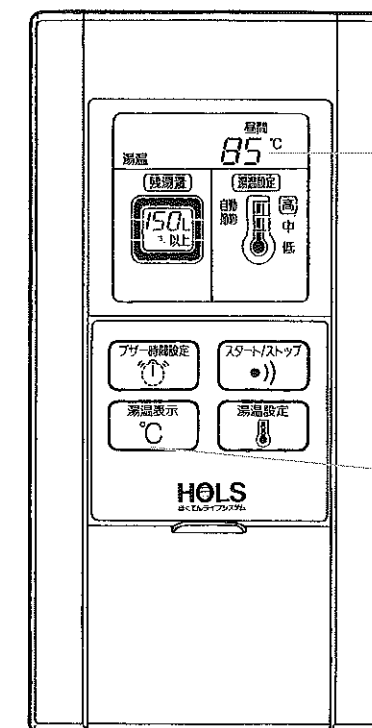
### 自動節約とは

過去の使用湯量と給水水温から翌日の使用湯量を予測し、約70℃～約90℃の範囲で沸き上げます。
湯温設定表示部が自動的に切り換わるのはこのためです。

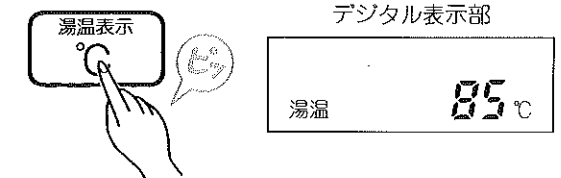
自動節約時の沸き上げ湯温（めやす）

約70℃～約79℃　約80℃～約90℃

① 湯温設定スイッチを押す

スイッチを押すごとに湯温設定表示が
“高”→“中”→“低”→“自動節約”→“高”→…
と切換わります。

| 湯温設定表示部 | 沸き上げ湯温（めやす） |
|---|---|
| 自動節約 高 中 低（高） | 約90℃ |
| 自動節約 高 中 低（中） | 約75℃ |
| 自動節約 高 中 低（低） | 約55℃ |
| 自動節約（自動節約） 高 中 低 | 約70℃～約90℃ |

お知らせ ・沸き上げ湯温は、沸き上げ直後のタンク内の湯温です。時間の経過とともに少しずつ低下します。また、湯温は2～3℃ばらつくことがあります。

## 湯温表示

① 湯温表示スイッチを押す

デジタル表示部

お知らせ

- 湯温を約10秒間表示した後、時刻表示に戻ります。
- 湯温表示はタンク内上部の湯温を示し、給湯栓から出るお湯は配管条件によって表示湯温よりも低めになります。
- タンク内のお湯は放熱により少しずつ（1時間に0.5℃～1.0℃）冷めます。

## 沸き増し設定

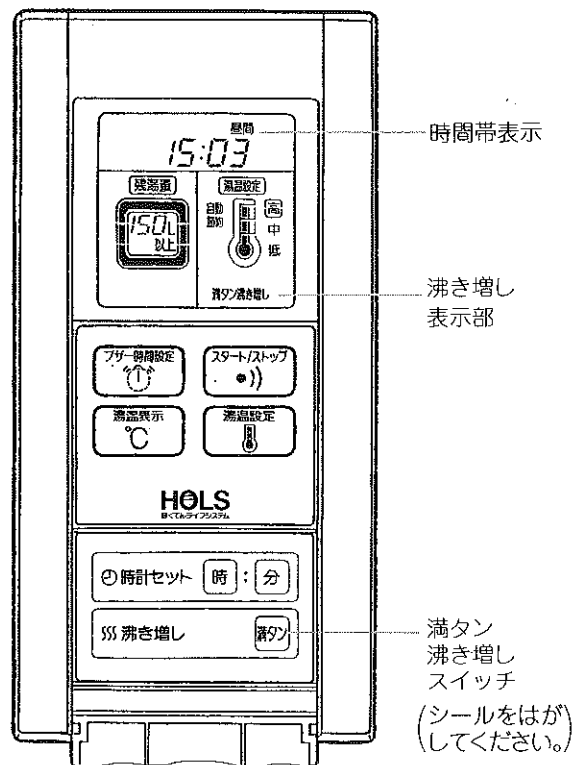
※「時間帯別電灯」料金制度で契約時のみ利用できます。

お湯が足りなくなる前に沸き増しをセットしておきます。

満タン沸き増し……来客などでお湯がたくさん必要なとき。一度セットすれば、その日１日のみ何回でも沸き増しを行います。

- 沸き増しの場合、湯温設定表示の温度に沸き上げます。
- 昼間時間帯（７：00～23：00）に沸き増しを行うと電気料金が割高になります。

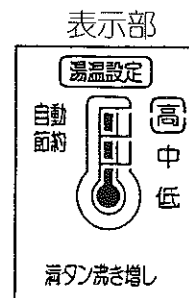
（フタを開けたとき）

お知らせ
- 最初の電源「入」から24時間経過し、時間帯の表示が点灯していないと使用できません。
- 初日のみ満タン沸き増しは利用できません。

### 満タン沸き増しの設定

お知らせ　**はじめて使うときはシールをはがしてください。**

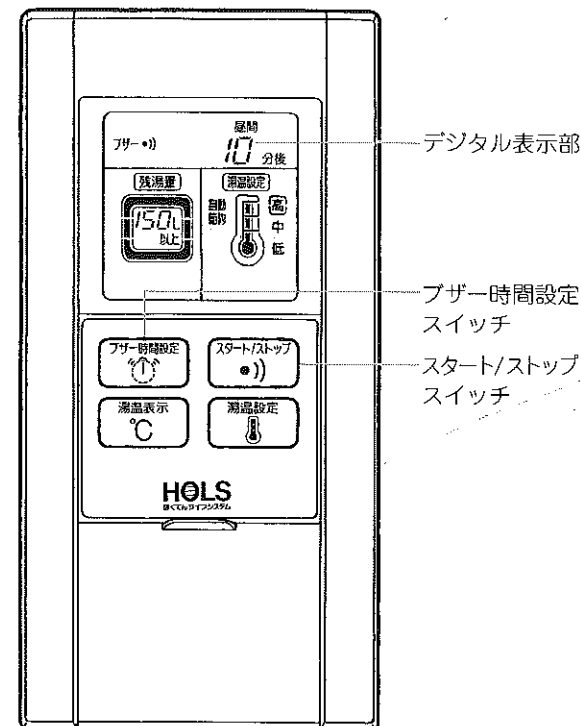
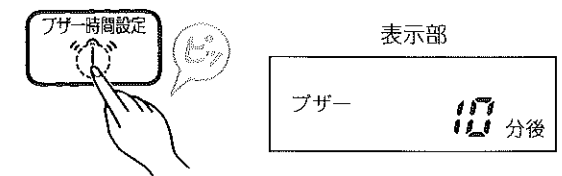
① 満タン を押す

表示部

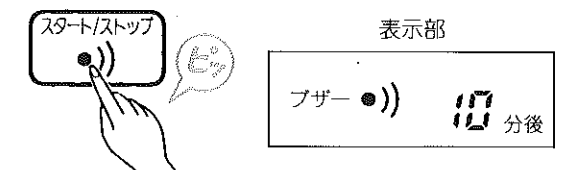
湯温設定
自動
節約
高
中
低
満タン沸き増し

解除する場合はもう一度スイッチを押します。
（満タン沸き増しが消灯します。）

お知らせ　**23時になると満タン沸き増しの設定は自動的に解除されます。**

## お知らせブザーの設定

お風呂の湯張り時間のお知らせなどにご使用ください。
一度ブザー時間を設定すれば、その後はスタート／ストップスイッチを押すだけで使用できます。設定した時間が経つとブザーが鳴ります。

① ブザー時間設定スイッチを押す

スイッチを押すと表示部の「分」の位が点灯になります。
さらにスイッチを押し続けると、「分」の位が
“10”→“11”→…→“29”→“30”→“00”→…
と切換わります。

お知らせ
- **時間は1分ごとに30分まで設定できます。**
- **お買上げ時は10分に設定されています。**

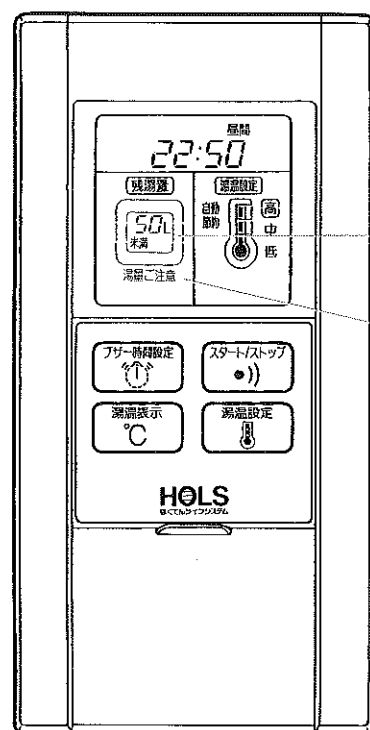
② スタート／ストップスイッチを押す

「●))」点灯後､1分経過ごとに数字が減少します。
設定時間になると「ピピピ　ピピピ…」が約10秒間鳴ります。

解除する場合はもう一度スイッチを押します。
（時刻表示に戻ります。）

お知らせ　**ブザー時間設定後、スタート／ストップスイッチを押さないと、２～３分で時刻表示に戻ります。**

# 操作のしかた

## 残湯量の表示

タンク内に残っているお湯の量を残湯量表示部でお知らせします。
また、残湯量が少なくなると「湯量ご注意」が表示されます。

| 残湯量表示部 | 残湯量 |
|---|---|
| 50L 未満 湯量ご注意 | 50L未満 |
| 50L 以上 | 50L～100L |
| 100L 以上 | 100L～150L |
| 150L 以上 | 150L以上 |

お知らせ **残湯量が減り表示が変わると、「ピーピー…」が約5秒間鳴ります。**



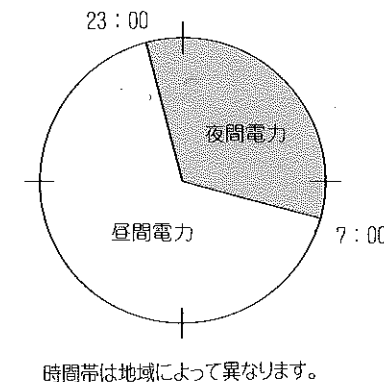
# 電気料金制度について

この電気温水器は契約に応じて昼間沸き増しができる「時間帯別電灯」対応通電制御型または、「深夜電力」通電制御型としても使用できます。
詳しくはお近くの電力会社にお問い合わせください。

## 「時間帯別電灯」料金制度

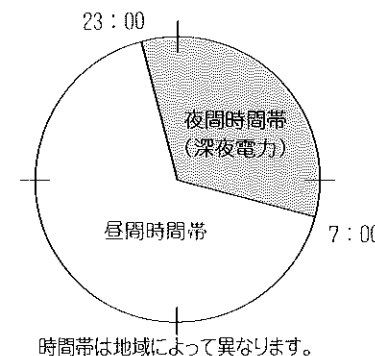
1日中、200V電源が供給されます。
家庭で使用するすべての電力を、昼間電力（7：00～23：00）と夜間電力（23：00～7：00）に分けて計算します。一般の電灯料金にくらべ昼間電力は若干高くなりますが、夜間電力が大幅に割引されます。

時間帯は地域によって異なります。

お知らせ **この製品は、電源の供給状態を監視し電力制度を自動判定する機能があります。最初の電源「入」は深夜電力としてスタートし、24時間後に料金制度を判定します。このため、時間帯別電灯料金制度で使用する場合、次の制限事項があります。**

- 初日のみ、時間帯の表示をしません。
- 初日のみ、時刻設定をしなくても沸き上げを行います。
  2日目からは、時刻設定をしないと沸き上げができません。
- 初日のみ、満タン沸き増しができません。

## 「深夜電力」制度

夜間時間帯（23：00～7：00）に200V電源が供給されます。
電気料金は、一般電灯料金の約1/3です。

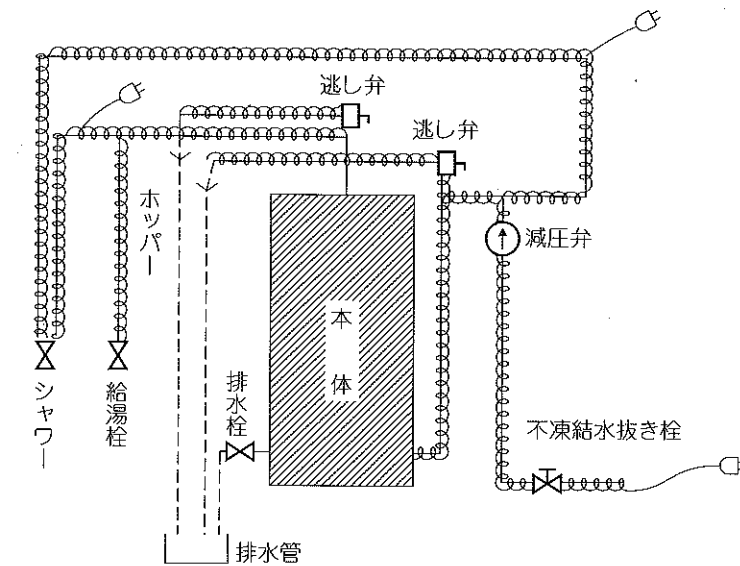
時間帯は地域によって異なります。

お知らせ **深夜電力制度で契約の場合、「満タン沸き増し」は利用できません。**

## 凍結防止について必ずお読みください

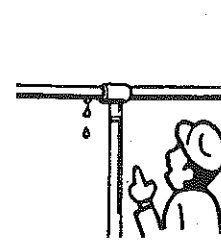
据付場所の周囲温度が０℃以下になる場合には配管や減圧弁、逃し弁が凍結し、配管や本体が破損する恐れがありますので、凍結防止対策が必要です。

凍結防止対策としては「凍結防止ヒーターによる方法」があります。

## 凍結防止ヒーターによる方法

- 凍結防止ヒーターが図のように巻かれているかを確認します。
- 凍結防止ヒーターは何本も使用されていますので、すべてのヒーターのプラグをコンセントに差し込みます。
- 凍結しない季節は安全のためコンセントからプラグを抜いておきます。

# お手入れと定期点検のお願い

## 配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。
保温材の破損や、水漏れが生じている場合は、据付け工事店にご連絡ください。
特に冬季に入る前には、必ず保温材のチェックを行います。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

**⚠注意**
**配管を点検する**
マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

## タンクのお手入れ（1ヵ月に1度）

**①排水栓を約1～2分間開きます。**
タンクの下部にたまった汚れを排水します。

**②汚れがなくなったら排水栓を閉じます。**
汚れが多い場合は、数回繰り返します。

**⚠警告**
**やけどに注意する**
排水時は熱湯が出ます。

## 逃し弁の点検（1ヵ月に1度）

### 1.逃し弁の動作点検

①逃し弁のレバーを上げ、水（お湯）が排水口から出ることを確認します。
②お湯が出れば正常です。
お湯が出ないときは、不凍結水抜き栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。
また、レバーの動きが悪い場合は、早めに据付け工事店へご連絡ください。

### 2.逃し弁の水漏れ点検

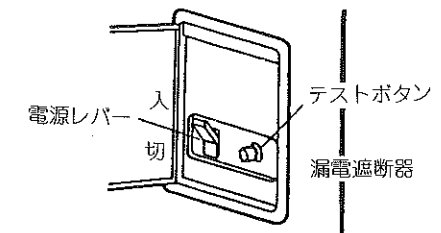
①「沸き上げ中」の表示が消灯中に排水口からお湯がでていないかを確認します。
②お湯が出ているときは、手動レバーを数回上下に動かしてください。それでもお湯が止まらないときは不凍結水抜き栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

**⚠警告**
**点検時は、配管に手を触れない**
（やけどの原因）

**⚠注意**
**逃し弁の点検をする**
タンクや配管が破裂して、やけどの原因になります。

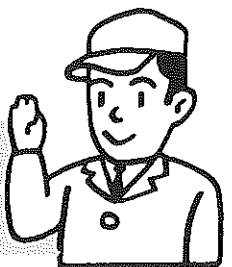
## 漏電遮断器の点検（1ヵ月に1度）

漏電遮断器の点検は深夜電力時間帯に行なってください。

①テストボタンを押します。
②「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。電源レバーを必ず「入」にもどします。
テストボタンを押しても電源レバーが「切」にならないときは、200V電源ブレーカーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

**⚠警告**
**漏電遮断器の動作を確認する。**
故障のまま使用すると感電する恐れがあります。

## 水漏れの点検

本体や、周辺配管などから水漏れが生じたときは、不凍結水抜き栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

# 定期点検のお願い（有料）

電気温水器を少しでも長く使用するために、3～4年に1度定期点検（有料）を行なってください。定期点検については、据付け工事店（販売店）または「HOLSお客様相談窓口」へご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

## 定期点検の主な内容

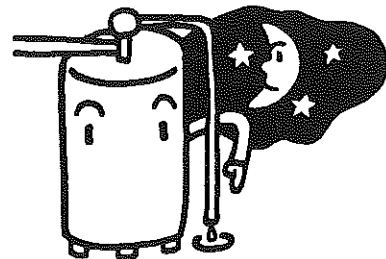
| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 据付け状態 | 設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認 |
| 機能部品 | 電気部品（配線、導通、動作の確認）、逃し弁、減圧弁などの点検 |
| 清掃 | タンク内の清掃（沈殿物の除去など） |

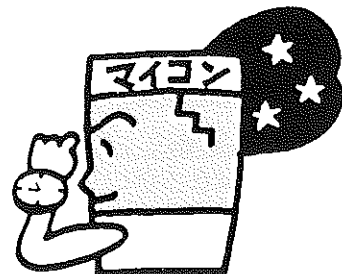
## 消耗部品の交換

逃し弁、減圧弁、ヒーターパッキンは消耗部品です。劣化している場合は、早めに据付け工事店にご連絡ください。

## こんなときは故障ではありません。

### 逃し弁からお湯が出ている

逃し弁が正常に作動していると、「沸き上げ中」が表示されているときに水からお湯になるときの膨張分が逃し弁から出ます。

### ヒーターにすぐ通電されない

タンク内の沸き上げたお湯は、時間の経過とともに徐々に温度が低くなります。この製品は、温度の低下を少なくするために、給水水温が高い場合や湯温設定が「低」のときは、深夜電力時間帯になってもすぐに通電しません。深夜電力時間帯が終了する時間に合わせて沸き上げを完了させます。
(ピークシフト機能)

### 設定湯温まで沸き上がらない

以下のことを行うと、設定湯温まで沸き上がらない場合があります。

①「沸き上げ中」が表示されているときにお湯を使用した場合
② 深夜電力時間帯に沸き上げ湯温の設定を上げた場合
③ 給水水温が低く、残湯量が少ない場合
[給水水温10℃以下、残湯量20L未満の場合]

### お湯から油や臭いが出る

初めて使うときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

### お湯が白く濁ってみえる

これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、蛇口を開けたとき大気圧まで急に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えてしまい、全く無害なものです。

### お湯を使わないのに「湯量ご注意」表示になる

沸き上げ湯温設定が「低」(沸き上げ湯温約55℃)のとき、外気温が低い冬季において自然放熱によって湯温がさがるため(約44℃以下)お湯を使わないのに「湯量ご注意」表示になることがあります。



## 故障かなと思ったら

### "故障かな?"と思ったときは、まず次の点を調べてください。

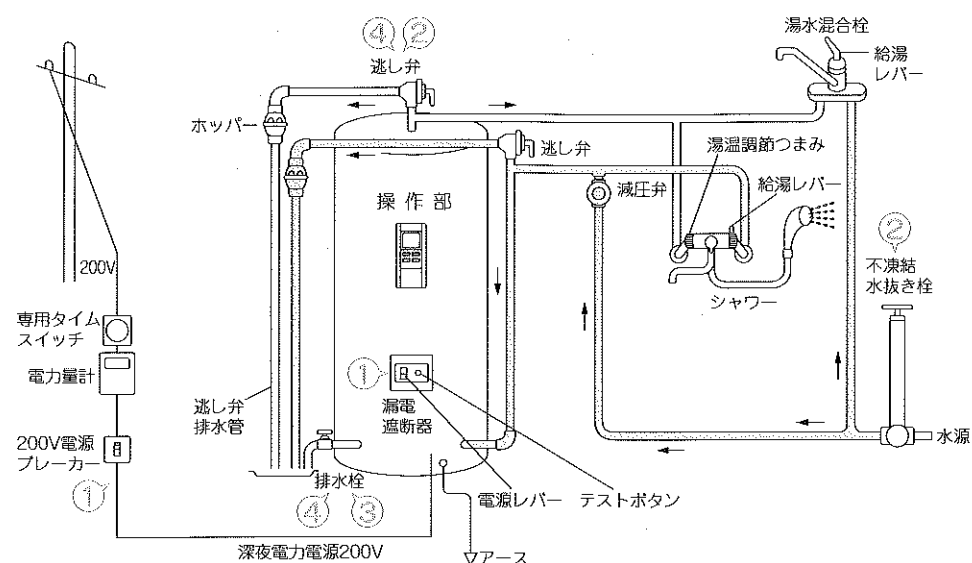
| こんなとき | 調べていただきたいこと | していただきたいこと |
|---|---|---|
| お湯が出ない 出が悪い | ◎不凍結水抜き栓は開いていますか。 | 閉じていれば開いてください。 |
| | ◎断水していませんか。 | 断水が終わるまで待ってください。 |
| | ◎配管部分が凍結していませんか。 | とけるまで待ってください。 |
| お湯が沸かない 足りない | ◎デジタル表示部の時計セット が点灯していませんか<br>【「時間帯別電灯」料金制度で契約の場合のみ】 | 時刻設定をしてください。(9ページ) |
| | ◎200V電源ブレーカーが「切」になっていませんか。<br>◎漏電遮断器の電源レバーが「切」になっていませんか。 | 「入」にしてください。 |
| | ◎表示部の表示が消えていませんか。 | 200V電源の「入」を確認してください。 |
| | ◎湯温設定は適切ですか。 | 上のランクに切換えてください。(11ページ) |
| | ◎表示部の「沸き上げ中」が表示されているとき以外に、逃し弁の排水口からお湯か水が出ていませんか。 | 逃し弁を点検してください。(19ページ)<br>逃し弁を点検してもなおらない場合は減圧弁の故障も考えられますので、据付け工事店にご連絡ください。 |
| | ◎表示部の「沸き上げ中」が表示されているときにお湯をたくさん使用しましたか<br>◎いつもにくらべてお湯をたくさん使用しませんでしたか。<br>◎給水水温が10℃以下ではないですか。 | 翌日までお待ちください。<br>沸き増しを使用してください。<br>【「時間帯別電灯」料金制度で契約の場合のみ】 |
| 表示部が表示しない | ◎200V電源ブレーカーが「切」になっていませんか。<br>◎漏電遮断器の電源レバーが「切」になっていませんか。 | 「入」にしてください。 |

以上のことをお調べになり、それでも異常があるときは必ず漏電遮断器の電源レバーを「切(OFF)」にし、据付け工事店またはお近くの「HOLSお客様相談窓口」へご相談ください。

# 長期間使用しないときは

## 1ヵ月以上のとき（電源を切りタンク内の水抜きをします。）

長期間使用しないとタンク内の水が変質しますのでタンク内の水抜きをします。

※水抜きは、お湯をすてるムダを少なくするため、お風呂などに給湯するなど、多量のお湯を使用した後に行います。

①深夜電力の200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にします。

②不凍結水抜き栓を閉じてから、逃し弁のレバーを上げます。

③排水栓を開きます。（熱いお湯が出る場合がありますので、やけどに注意してください。）

④排水が終わりましたら逃し弁のレバーを下げ、排水栓を閉じます。

☆**再びご使用になるときは使用前の準備と給湯手順（７ページ）に従ってください。**

## 1カ月以内のとき（電源を切ります。）

１カ月以内でも冬季凍結の恐れのあるときは、タンクや配管を破損しますので「１カ月以上のとき」に従ってタンク内の水抜きをしてください。

①漏電遮断器の電源レバーを「切」にします。

☆**再びご使用になるときは必ずタンクが満水であることを確認してから次の手順で行ってください。**

①漏電遮断器の電源レバーを「入」にします。

②時刻設定をします。（9ページ）

③湯温設定をします。（11ページ）

**お知らせ** １日以上電源を「切」にすると表示部の表示が消えます。

# 仕　　様

| 形 | | 名 | HEMC-4602B |
|---|---|---|---|
| 設置場所 | | | 屋内用 |
| タンク容量 | | | 0.46㎥（460Ｌ） |
| 定格 | 発熱体 | | 単相200Ｖ　5.4KW |
| | 制御用 | | 単相200Ｖ　約３Ｗ |
| 沸き上げ湯温 | | | 約55℃～約90℃ |
| 本体寸法 | | | 高さ2013㎜×φ660㎜ |
| 質量 | 本体 | | 約56kg |
| | 満水時 | | 約516kg |
| 安全装置 | | | 漏電遮断器・温度過昇防止器・アース端子 |
| 温度検知 | | | サーミスター |
| 発熱体 | | | シーズヒーター |
| 操作部 | 操作 | | ブザー時間設定スイッチ、タイマースタート／ストップスイッチ、湯温表示スイッチ、湯温設定スイッチ、時計セットスイッチ（時・分）、沸き増しスイッチ（満タン） |
| | 表示 | | デジタル表示（時刻・湯温・ブザー設定時間・タイマー残時間）、時間帯表示（昼間・夜間）、湯温設定表示（自動節約・低・中・高）、残湯量表示（150Ｌ以上・100Ｌ以上・50Ｌ以上・50Ｌ未満）、湯量ご注意表示、沸き上げ中表示、沸き増し表示（満タン） |
| | 寸法 | | 幅96㎜×高さ198㎜ |



# 保証とアフターサービス

## 保証書について

- この製品には保証書がついています。保証書は、必ず「据付け工事店（販売店）名、お買上げ日」などの所定事項の記入を確かめて据付け工事店からお受け取りください。
- 保証書記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

## 保証期間

●お買い上げの日から２年間です。（ただし、タンクは５年です。）

- 据付工事説明書に記載されていない方法で工事され、凍結や負圧により本体が損傷した場合、有償となります。
- 当社純正別売部品を使用せず、これが原因で故障した場合、有償となります。

## 補修用性能部品の保有期間

- この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後10年です。この期間は（財）ベターリビングの指導によるものです。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理サービス

- 製品の具合が悪いときは22ページの「故障かなと思ったら」をお読みになって今一度チェックしてください。

それでも具合の悪いときは本体の電源を切り、据付け工事店またはお近くの「HOLSお客様相談窓口」へご相談ください。

## 保証期間中の修理

- 保証期間中の修理については、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、据付け工事店が修理させていただきます。

## 保証期間経過後の修理

- 保証期間経過後の修理については据付け工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客さまのご要望により有料修理をいたします。

## ご連絡いただきたい内容

| 品名 | 電気温水器 |
|---|---|
| 形名 | |
| お買上げ日 | 年　月　日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |
| ご住所・お名前、電話番号、訪問希望日 | |

## 修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

## ご不明な点に関するご相談は

- 据付け工事店か「HOLSお客様相談窓口」へご相談ください。